



## (2) 朝倉

(桜井市脇本～初瀬)

古代からこの道は東国への重要なルートで神武東征はじめ「記紀」や万葉歌の舞台が沿道の各所に残っている。現在の国道165号は昭和初期まで桜井駅～長谷寺参道間を運行していた「初瀬軽便鉄道」の軌道跡である。

### 地図内凡例

-  道標など
-  常夜灯
-  神社・仏閣・城址など
-  まちがえやすい分かれ道
-  地藏など
-  その他文化遺産等
-  案内板
-  トイレ



### 11 白山神社参道

神社へは西側の案内板に従って信号を渡る。境内には「萬葉集発願讚仰碑」と雄略天皇の第1番歌碑がある

信号のない横断歩道を渡る

白山神社への案内板あり



### 9 常夜燈

脇本の集落のはずれの道の両側にある



### 10 朝倉村道路元標

朝倉小学校の校門に至る分岐に建つ



### 12 流れ地藏

文化8年の大洪水で長谷寺の前から流れてきた地藏。腰からは土に埋もれている



### 13 十二柱神社

狛犬の台座を4人の力士が支えている



### 狛峠越えの道

持統天皇の孫、軽皇子(後の文武天皇)一行が亡父、草壁皇子を偲び狩りをした阿騎野(宇陀市大宇陀)への道とされる。柿本人麻呂が長歌1首と短歌4首を残す(万葉公園)



### 14 長谷寺参道入口

両側の常夜灯の正面に愛宕山、裏面には宝暦十年(1760)とある

